

2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月9日

上場会社名 東亜道路工業株式会社

上場取引所

東

コード番号 1882 URL https://www.toadoro.co.jp/

(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森下 協一

代表者 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

2024年2月9日

(氏名) 戸倉 克夫 TEL 03-3405-1812

四半期報告書提出予定日 配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上	高	営業和	J益	経常和	J益	親会社株主に 四半期糾	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	83,316	0.9	2,299	46.6	2,491	43.8	1,554	52.7
2023年3月期第3四半期	84,071	7.0	1,567	45.5	1,732	41.1	1,018	44.0

(注)包括利益 2024年3月期第3四半期 1,904百万円 (95.0%) 2023年3月期第3四半期 976百万円 (47.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円銭		円銭
2024年3月期第3四半期	163.43		
2023年3月期第3四半期	107.63		

当社は、2023年4月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当 該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状能

(-) ~= MA M BX 1/10			
	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	83,697	53,477	62.2
2023年3月期	87,184	52,711	58.9

2024年3月期第3四半期 52.102百万円 2023年3月期 51,344百万円 (参考)自己資本

2. 配当の状況

			年間配当金		
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2023年3月期				180.00	180.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				210.00	210.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2023年4月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため2023年3月期の期末配当180円は、当該株式分割前の実 際の配当金の額を記載しております。

3. 2024年 3月期の連結業績予想(2023年 4月 1日~2024年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上剤	高	営業和	川益	経常和	引益	親会社株主 当期純		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	120,000	1.1	6,000	26.7	6,200	25.1	4,000	26.6	420.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無以外の会計方針の変更 : 無会計上の見積りの変更 : 無修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 2024年3月期3Q 10,440,046 株 2023年3月期 10,440,046 株 期末自己株式数 2024年3月期3Q 965,293 株 2023年3月期 935,816 株

2024年3月期3Q

期中平均株式数(四半期累計)

当社は、2023年4月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

9,513,112 株 2023年3月期3Q

9,460,896 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではございません。また、実際の業績等は様々な要因により大き〈異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	2
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	3
	(1) 四半期連結貸借対照表	3
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
	四半期連結損益計算書	
	第3四半期連結累計期間	5
	四半期連結包括利益計算書	
	第3四半期連結累計期間	6
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
	(継続企業の前提に関する注記)	
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	
	(表示方法の変更)	
	(セグメント情報等)	8
3.	その他	
	生産、受注及び販売の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により社会経済活動の正常化が一段と進み、雇用や所得環境の改善、インバウンド需要の増加など、景気は回復基調で推移しました。 一方で、国際情勢の緊迫化やエネルギー価格の高騰など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業であります道路建設業界におきましては、政府建設投資は底堅く推移し、民間設備投資も企業収益の改善に伴い回復傾向がみられるものの、受注競争の激化に加え、建設資材価格や人件費の上昇により依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況下におきまして、当社グループの当第3四半期連結累計期間における受注高は92,557百万円(前年同四半期連結累計期間比3.2%増加)となり、売上高は83,316百万円(前年同四半期連結累計期間比0.9%減少)となりました。

損益につきましては、営業利益は2,299百万円(前年同四半期連結累計期間比46.6%増加)、経常利益は2,491百万円(前年同四半期連結累計期間比43.8%増加)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,554百万円(前年同四半期連結累計期間比52.7%増加)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①建設事業

当第3四半期連結累計期間における受注高は57,695百万円(前年同四半期連結累計期間比9.1%増加)となりました。完成工事高は48,455百万円(前年同四半期連結累計期間比2.5%増加)となり、セグメント利益は1,376百万円(前年同四半期連結累計期間比50.6%増加)となりました。

②建設材料等の製造販売・環境事業等

当第3四半期連結累計期間における売上高は34,861百万円(前年同四半期連結累計期間比5.3%減少)、セグメント利益は2,562百万円(前年同四半期連結累計期間比18.2%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、83,697百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,487百万円の減少となりました。主な要因は、受取手形・完成工事未収入金等が11,489百万円減少し、現金預金が2,341百万円、未成工事支出金が3,012百万円増加したこと等によります。

負債合計は、30,219百万円となり、前連結会計年度末と比較して4,253百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形・工事未払金等が1,375百万円、短期借入金が1,786百万円、未払法人税等が837百万円減少したこと等によります。

純資産合計は、53,477百万円となり、前連結会計年度末と比較して766百万円の増加となりました。主な要因は、 親会社株主に帰属する四半期純利益1,554百万円の計上、株主配当金855百万円の支払いにより利益剰余金が704百万 円増加し、その他有価証券評価差額金が333百万円、自己株式の処分に伴い資本剰余金が158百万円増加し、自己株 式の取得により自己株式が402百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、アスファルト等の原材料価格の動向が不透明ではありますが、建設事業、建設材料等の製造販売・環境事業等ともに順調な進捗が見込めるため、現時点におきましては、2023年5月12日に発表いたしました業績予想の内容に変更はございません。今後の業績推移に応じて修正が必要になった場合は適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	10, 004	12, 346
受取手形・完成工事未収入金等	39, 473	27, 985
電子記録債権	2, 430	3, 225
未成工事支出金	1,842	4, 855
商品及び製品	972	860
仕掛品	350	571
材料貯蔵品	1, 493	1, 605
その他	2, 926	3, 756
貸倒引当金	△69	△79
流動資産合計	59, 427	55, 127
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13, 456	13, 938
機械装置及び運搬具	27, 510	28, 029
土地	12, 375	12, 372
リース資産	1,061	1, 182
建設仮勘定	143	141
その他	2, 563	2, 628
減価償却累計額	△35,770	△36, 731
有形固定資産合計	21, 339	21, 561
無形固定資産	346	289
投資その他の資産		
投資有価証券	4, 528	5, 016
長期貸付金	280	317
退職給付に係る資産	854	871
繰延税金資産	273	332
その他	301	330
貸倒引当金	△165	△148
投資その他の資産合計	6, 071	6, 719
固定資産合計	27, 757	28, 570
資産合計	87, 184	83, 697

(単位:百万円)

	————————————————————— 前連結会計年度	当第3四半期連結会計期間
	(2023年3月31日)	(2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	16, 517	15, 141
電子記録債務	6, 265	5, 803
短期借入金	2, 036	250
未払法人税等	1,097	260
未成工事受入金	1, 399	2, 437
完成工事補償引当金	27	27
工事損失引当金	190	247
その他	3, 927	2, 954
流動負債合計	31, 460	27, 122
固定負債		
長期借入金	150	-
繰延税金負債	745	962
再評価に係る繰延税金負債	1, 044	1, 044
退職給付に係る負債	449	443
資産除去債務	54	54
その他	569	591
固定負債合計	3, 012	3, 096
負債合計	34, 472	30, 219
純資産の部		
株主資本		
資本金	7, 584	7, 584
資本剰余金	7, 105	7, 258
利益剰余金	35, 722	36, 427
自己株式	$\triangle 1,724$	△2, 126
株主資本合計	48, 688	49, 143
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1, 805	2, 138
土地再評価差額金	652	652
退職給付に係る調整累計額	198	167
その他の包括利益累計額合計	2, 656	2, 958
非支配株主持分	1, 366	1, 375
純資産合計	52, 711	53, 477
負債純資産合計	87, 184	83, 697

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

		(単位:百万円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	84, 071	83, 316
売上原価	76, 842	74, 992
売上総利益	7, 228	8, 324
販売費及び一般管理費	5, 661	6, 025
営業利益	1,567	2, 299
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	147	147
貸倒引当金戻入額	3	8
その他		61
営業外収益合計	229	221
営業外費用		
支払利息	19	12
金融手数料	19	3
支払手数料	8	4
その他		8
営業外費用合計	64	28
経常利益	1,732	2, 491
特別利益		
固定資産売却益	41	36
その他	<u> </u>	4
特別利益合計	41	40
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	89	25
その他		_
特別損失合計	89	25
税金等調整前四半期純利益	1, 684	2, 506
法人税等	566	904
四半期純利益	1, 117	1,602
非支配株主に帰属する四半期純利益	99	47
親会社株主に帰属する四半期純利益	1, 018	1, 554

四半期連結包括利益計算書 第3四半期連結累計期間

		(単位:百万円)_
	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	(自 2022年4月1日	(自 2023年4月1日
	至 2022年12月31日)	至 2023年12月31日)
四半期純利益	1, 117	1,602
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△112	333
退職給付に係る調整額	△28	△31
その他の包括利益合計	△141	302
四半期包括利益	976	1, 904
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	877	1,856
非支配株主に係る四半期包括利益	99	47

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月29日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結会計期間末までに累計87,100株の自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が506百万円増加いたしました。また、2023年7月10日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として15,319株の自己株式の処分、従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブとして42,920株の自己株式の処分を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が158百万円増加し、自己株式が106百万円減少いたしました。

なお、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金7,258百万円、自己株式2,126百万円となっております。

(表示方法の変更)

前連結会計年度において、「流動資産」の「受取手形・完成工事未収入金等」に含めていた「電子記録債権」は、金額的重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結貸借対照表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「受取手形・完成工事未収入金等」に表示していた41,904百万円は、「受取手形・完成工事未収入金等」39,473百万円、「電子記録債権」2,430百万円として組替えております。

(セグメント情報等)

- I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

		報告セグメント	(干压・日/3/17)
	建設事業	製造販売・環境事業等	計
売上高			
外部顧客への売上高	47, 267	36, 803	84, 071
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26	768	794
計	47, 294	37, 571	84, 866
セグメント利益	913	2, 167	3, 080

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3, 080
セグメント間取引消去	21
全社費用(注)	△1,534
四半期連結損益計算書の営業利益	1,567

- (注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報 該当事項はありません。

- Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	建設事業	製造販売・環境事業等	計			
売上高						
外部顧客への売上高	48, 455	34, 861	83, 316			
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	741	746			
計	48, 460	35, 603	84, 063			
セグメント利益	1, 376	2, 562	3, 938			

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3, 938
セグメント間取引消去	28
全社費用(注)	$\triangle 1,667$
四半期連結損益計算書の営業利益	2, 299

- (注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報 該当事項はありません。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

事業別受注・売上・次期繰越高

区分		前第3四半期連結累計期間 自 2022年4月1日 至 2022年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自 2023年4月1日 至 2023年12月31日		
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
前期繰越高	建設事業	舗装工事	19, 878	64. 6	17, 286	59. 5
		土木工事	10, 870	35. 4	11,772	40. 5
		計	30, 748	100.0	29, 059	100.0
	製造販売・環境事業等		-	_	-	_
	合 計		30, 748	100.0	29, 059	100.0
受注高	建設事業	舗装工事	42, 533	47. 4	45, 225	48. 9
		土木工事	10, 375	11.6	12, 470	13. 4
		計	52, 909	59. 0	57, 695	62. 3
	製造販売・環境事業等		36, 803	41.0	34, 861	37. 7
	合 計		89, 713	100.0	92, 557	100.0
売上高	建設事業	舗装工事	39, 243	46. 7	38, 084	45. 7
		土木工事	8, 024	9. 5	10, 370	12. 5
		計	47, 267	56. 2	48, 455	58. 2
	製造販売・	環境事業等	36, 803	43.8	34, 861	41.8
	合 計		84, 071	100.0	83, 316	100.0
次期繰越高	建設事業	舗装工事	23, 168	63. 7	24, 426	63. 8
		土木工事	13, 221	36. 3	13, 872	36. 2
		計	36, 390	100.0	38, 299	100.0
	製造販売・	環境事業等	_	_	_	_
	合 計		36, 390	100.0	38, 299	100.0